

第27回 ハイライフセミナー

縮退懸念の
東京 
50km圏をゆく

主催者挨拶

高津 伸司

TAKATSU Shinji

公益財団法人ハイライフ研究所

代表理事/副理事長

東京50km圏に訪れる縮退圧力

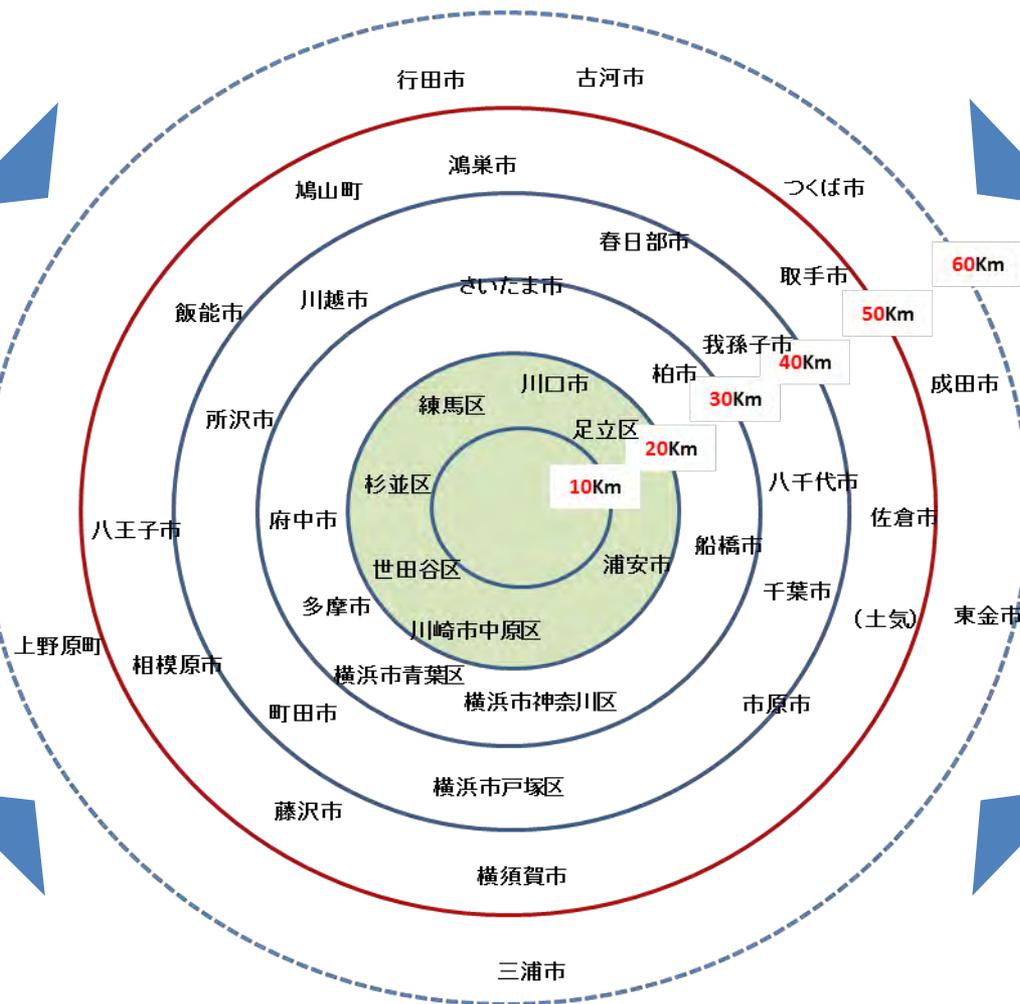
縮退要因<1>

高齢化

縮退要因<2>

加齢化

住宅ストック



縮退要因<3>

人口減少

郊外化圧力の低下

縮退要因<4>

都心居住指向

郊外化に引き潮

◆縮退圧力が日々高まってきている東京50km圏。

◆人口の減少時代は縮退格差を増幅していくのが避けられない。



◆縮退実態の把握(その進行状況、背景、要因)、さらにいえば、**縮退実態の格差の把握**が今研究の主目的。

◆**格差、そのなかに縮退の加速要素・対抗要素が潜んでおり、遠隔郊外の持続可能性の要件が見出し得る。**

◆縮退格差の把握には、地域データ分析と並行して、個別事例研究が欠かせない。

「現地に立って、見て、聞いて、感じる」→東京50km圏をゆく！

◆調査研究の(一部)報告に加え、
郊外研究の第一人者、識者を招いて、これからの遠隔郊外のサステナビリティの実現に向けた知見を交感していきたい。

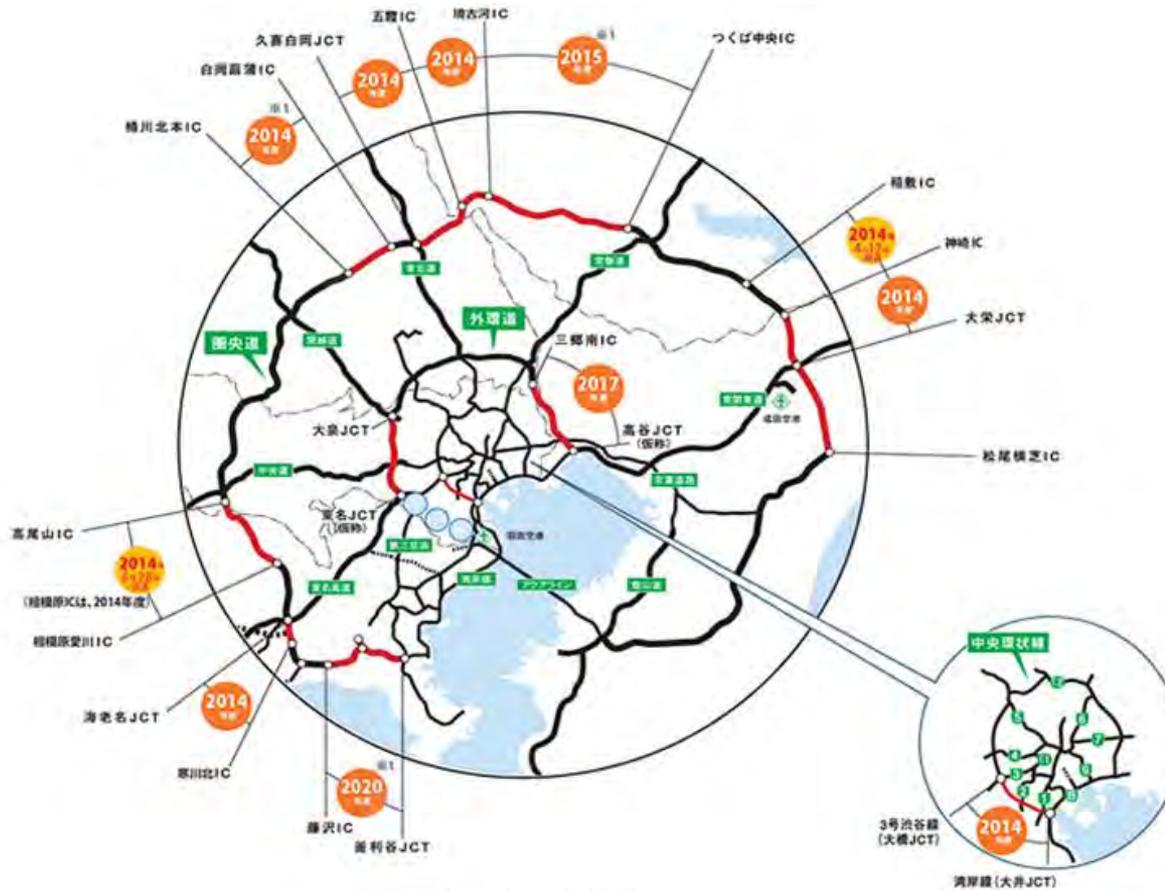
東京50km圏に吹く風

**2015年、
団塊の世代が全員65歳以上に。**

団塊の世代が痛勤から解放。
人生90年時代の第二の人生づくりに入る。

**2015年
圏央道がほぼ完成。**

鉄道放射線依存生活から、
圏央道ネットワークライフへの期待。



—国土交通省関東地方整備局より